

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 4月16日（日）

新しい年度の始まりにあたり、家族そろって食事をとりながら、互いの学校や職場の様子について語り合い、充実した年度になるようにしましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。
(秘密厳守)

「故郷ってやつはよお・・・」

千曲市教育委員会教育委員 中村 洋一

我が故郷千曲市にあんずの花が咲き、子ども達の笑顔がはじける新しい春を迎えました。この笑顔がいつまでも曇りなく輝き続けて欲しいと思います。

教育を取り巻く様々な課題は、牧歌的に対応できるほど「甘くはない」ことを承知の上ですが、案外「待っていてくれる人がいる故郷」を持つ安心感を構築することが、第一歩のような気がします。学校で言えば、子ども達を待っている先生やお友達、仲間の先生を待っている先生達、そして、先生を待っている子ども達。どこかで誰かが自分を待っていてくれる「故郷」がある安心感を持つことが大切なのではないでしょうか。

映画『男はつらいよ』第六作純情篇に、故郷の葛飾柴又に帰り、みんなを振り回したあげくにフラれて、少しだけ反省し、「故郷に帰れば何とかなる」と思っている甘えた考えの自分自身を責める「寅さんのシーンがあります。妹のさくらが、旅に向かう電車に乗り込む寅さんの首に自分のマフラーをかけてあげて、「お兄ちゃん、辛いことがあったら、いつでも帰っておいでね」と言う。寅さんが、「そのことだけだよ、そんな考えだからオレはいつまでも一人前に・・・故郷ってやつはよ、故郷ってやつはよお・・・」と言いかけるとドアが閉まって発車する。「え？なんて言ったの？」と問いかけるさくらに、寅さんがガラス越しに何か言っているけれど、聞こえない。「故郷ってやつはよお、遠きにおいて思うものって言うだろう」と言っている気もするし、「故郷ってやつはよお、やつぱりありがてえもんだなあ」と言っていて欲しい気もする。粋がって旅に出て、そしてやつぱり寅さんは、また帰って来る。故郷ってそういうもんじゃないか、それでいいんじゃないか。「いつでも待ってるよ」と言ってくれる「甘えられる場所」の大切さを、今、再確認すべきなのではないかと思っています。

～ 3月の定例補導委員会議より～

3月1日に、定例補導委員会議が開催され、以下の事項等について協議・連絡をおこないました。

- 1 千曲警察署生活安全課より
 - ・管内の少年による恐喝事案、不審者声かけ事案等の説明。
 - ・少年非行：15から20年前の刑法犯は年間1000件を超えていたが、昨年は339件に。年々右肩下がりで減少してきている。皆様の活動のたまもの。
- 2 平成29年度補導活動に向けて：アンケート結果の集約、今後改善しながら実施していく事の確認。
- 3 1・2月の補導活動を振り返って
 - ・「ここはやっても大丈夫」ではなく「ここは許してもらえない場所」に。日常の取組みに期待。
- 4 3・4月の補導日程について
 - 3月：通常補導 2日～（午後3時～5時）、PTAとの合同補導：17日～（午後3時～5時）
 - 4月：補導委員の学校訪問 17日～（午後3時～5時30分）
通常補導：21日～（午後4時～6時）
- 5 平成29年度千曲市少年補導委員会総会 4月12日（水）午後3時から 戸倉創造館にて



補導日誌から



「ここは捨てても大丈夫」では困ります

2月7日（火） 3:00pm～5:00

巡回した稲荷山の3店舗に問題はなく、稲荷山公園や屋代駅等トイレもきれいに使用されていました。駅の案内窓口でも確認しましたが、最近では問題となる事例はないそうです。外を巡回すると放置自転車が4台、これは相変わらずでした。4台の自転車すべてのカゴの中に、空き缶、ウキスキーの空瓶、ショッピング袋に入ったゴミ等が満載でした。早急に、放置自転車の処分が必要であると考えます。

補導委員との連携が見られて

2月20日（月） 3:00pm～5:00

屋代駅は落ち着いた感じで、トイレなども清掃が行き届いていました。駅前交番でお話をお聞きました。年々、生徒の生活態度は、良くなっているとのこと。「自転車の運転に関して、二人乗り、無灯火、無理な車線変更等問題が多い、と屋代高校前駅の駅員さんより指摘があったがどうか。」という質問に、市の育成センターからそのような指摘があったので、注意して見ているとのことでした。

子どもからいただく元気

2月22日（水） 3:00pm～5:00

子供の笑顔程、私達の年齢になると元気を貰えるものはありません。屋代ふれあい公園や雨宮児童公園などを巡回しました。今日は「声かけ」する前に子ども達の方から大きな声で挨拶してくれて、今やっている事を楽しそうに話してくれました。小学生も中学生も市内パトロールをしていて、今日が一番充実していたのかなと思いました。地区での巡回を終え、子ども達のおかげですがすがしい気持ちで帰途につくことができました。

暖かくなると不審者が

2月24日（金） 3:00pm～5:00

屋代駅から巡回をスタートしました。駅の近くで埴生小学校の子ども達が、社会勉強のため屋代商店

街を調査していました。稲荷山の西部駐在所へ行ってお話をお聞きしたところ、これから暖かくなると不審者が多くなるので注意が必要だが、今のところは問題ないとのことでした。不審者を見かけたら、まず警察へ連絡をお願いします。稲荷山公園に行くと、稲荷山養護学校の生徒さん3名と先生2名がいましたのであいさつをしました。トイレ等も異常ありませんでした。

素敵な子ども達

3月 2日(木) 3:00pm~5:00

更級地区では、下校途中の子ども達に出会ったので声をかけました。気を付けて帰るように話しかけると、どの子も元気にあいさつを返してくれてうれしかったです。中には「ありがとう」と言ってくれた女の子がいました。こんな時の「ありがとう」は本当にさわやかでした。上山田児童館に回ってみました。一輪車に上手に乗っていた2人の女の子がいました。努力しながら夢中でやっていました。良いですね!!

春を感じるこの頃です

3月 3日(金) 3:00pm~5:00

屋代駅の構内には高校生が12名ほどいました。皆それぞれ同じようにスマホに夢中……。案内窓口の方のお話では、このごろは何も問題はないとのことでした。千曲駅に行く途中、下校中の小学生が手を振ってくれ、こちらがエネルギーをいただきました。内川公園に回ってみると、高校生3人がバスケットで楽しんでいました。小学生も2人ボール遊びをしていました。稲荷山公園では、花壇に花の苗が植えられており、よく整備されておりました。地元の皆様に感謝です。4~5月頃が楽しみです。

おかあさんの大変さ

3月 3日(金) 3:00pm~5:00

創造館のロビーには、公民館学習活動実績発表会の書道の掛軸が飾ってありました。達筆な書が並んでいました。中央には小中学生による「わたしのお弁当展」の作品がありました。日の丸弁当から、おにぎり、いなりずし、サンドイッチ、焼きそば、パスタ、たまご焼き、おかず色々、可愛いキャラ弁など、手作り弁当の写真に添えてコメントが書いてありました。「自分で作ってみて母の大変さが分かった。」という子どもがいて感心しました。



編集室の窓

「もういいかい」・「もういいよ」

字をなぞる事が楽しい幼児がいました。数字の「3」をなぞるのですが、曲げるところが上手くいかず、はみ出してしまいます。お手本を見せて、「うまいなあ」と拍手…その場を盛り上げました。その子も拍手…大いに盛り上がりました。でも、見てすぐにきれいに書けるほど甘くはなく、相変わらずはみ出しました。そうこうするうちに、「あれ(お手本を見せるときに使った鉛筆)を貸して。」と言います。貸してあげると、今までよりゆっくりとなぞっていきます。相変わらずはみ出すのですが、ちょっとだけ上手くみえました。「きれいに書けたね」心から誉めることができました。

きれいに(はみださないように)書きたいという気持ちが、「あれを貸して」と言わせました。「上手くかける鉛筆」でゆっくりなぞりだす子供。その中で、「がんばった」ことが誉められ、納得の笑顔が生まれました。この幼子なら、きれいに書くことをめざして頑張らせても良い時期にきているようです。「字をきれいに書く」…幼児であっても期は熟しています。「もういいよ」です。

新しい年度が始まりました。頑張らせたいことがたくさん出てきます。期が熟すように仕掛けていくことや期が熟したかを見極めることは共に大人の責任。心のなかで、「もういいかい」の問いかけを。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介합니다。

すてきな美容師を目指して

4年1組 中村美咲

わたしは、将来美容師になりたいと思っています。私の髪は長いので洗うのが大変です。でも、美容師の人は上手に私の髪を切って、洗ってくれているうちに、不思議といい気持ちになります。なので、私も美容師になりたいと思いました。

わたしが美容師になったら、同じように髪が長い人が笑顔になってくれるようなサービスができたらいいなと思っています。そのために、まずは自分の髪のお手入れの仕方を学んだり、ヘアスタイルの勉強をしたりしたいです。



ウェディングプランナーになるために

4年1組 中村彩愛

わたしの将来の夢は、ウェディングプランナーです。きっかけは、図書館で読んだウェディングプランナーの本です。ウェディングプランナーは、結婚式でどんな演出をするのか、お客様に提案をします。わたしは結婚式を見たことがないのですが、結婚式を挙げる人が笑顔になってくれるように努力するウェディングプランナーは、すてきだと本を読んで思いました。

たくさんアイデアがないとできない仕事なので、いいアイデアをたくさん出せるように、勉強していきたいと思っています。



プロテニスプレイヤーになるために

4年1組 北村武峰

ぼくの将来の夢は、プロのテニスプレイヤーです。理由は、3年生のときにお母さんが「テニスを始めてみない？」と声をかけてくれたからです。最初は、自分から始めたわけじゃなかったけど、やっているうちに、テニスの面白さに気づくことができました。

お母さんは、いつも全力で応援をしてくれたり、試合の時にはアドバイスをしてくれたりしています。いつも全力でサポートしてくれるお母さんに、ぼくは全力のプレーで応えたいです。プロのテニスプレイヤーになるために、日々の練習を頑張っていきたいです。

